

船橋市教育委員会会議 11月定例会会議録

1. 日 時 平成21年11月12日(木)  
開 会 午後2時40分  
閉 会 午後4時00分

2. 場 所 教育委員室

3. 出席委員 委 員 長 山 本 雅 章  
委員長職務代理者 石 坂 展 代  
委 員 中 原 美 惠  
委 員 篠 田 好 造  
教 育 長 石 毛 成 昌

4. 出席職員 教育次長 西 崎 勝 則  
管理部長 松 本 清  
学校教育部長 阿 部 裕  
生涯学習部長 須 藤 元 夫  
管理部参事兼総務課長 二 通 健 司  
学校教育部参事兼  
総合教育センター所長 福 田 衛  
生涯学習部参事兼社会教育課長 山 田 清  
財務課長 泉 對 弘 志  
施設課長 千々和 祐 司  
学務課長 松 田 重 人  
指導課長 加 藤 邦 泰  
保健体育課長 水 野 平 吾  
文化課長 武 藤 三 恵 子  
青少年課長 大 野 栄 一  
生涯スポーツ課長 小 泉 秀 俊  
飛ノ台史跡公園博物館長 江 口 勇 一  
総務課長補佐 大 村 尚

5. 議 題

第1 前回会議録の承認

第2 議決事項

議案第47号 平成22年度船橋市立船橋特別支援学校高等部第1学年入学者募集要項について

議案第48号 船橋市情報公開条例の規定による異議申立てについての決定について

議案第49号 平成21年度船橋市一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)について

第3 報告事項

(1) 「船橋の教育(素案)」について

(2) 市立船橋高等学校の全日本マーチングコンテスト出場について

(3) 船橋市立小・中学校の文化部活動報告について

- (4) 「下総三山の七年祭り」大祭について
- (5) 企画展「料理と厨房の歴史 こんなに変わった日本の食卓」について
- (6) 船橋市運動公園市民野球場改修完成記念事業の実施報告について
- (7) その他

## 6. 議事の内容

### 【委員長】

ただいまから教育委員会会議 11 月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りします。

10 月 15 日に開催しました教育委員会会議 10 月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。

ご異議ございませんか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは議事に入りますが、議案第 48 号は、船橋市教育委員会会議規則第 14 条第 1 項第 2 号の「訴訟、審査請求、異議申立て、その他の争訟に関する事項」に該当し、議案第 49 号は、同規則第 14 条第 1 項第 4 号の「市長又は議会に対する意見の申出及び市長その他の関係機関との協議等を必要とする事項」に該当しますので、非公開としたいと思います。ご異議ございませんか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【委員長】

異議なしと認めますので、そのようにいたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、議案第 47 号について、総合教育センター、説明をお願いします。

### 【総合教育センター所長】

議案第 47 号「平成 22 年度船橋市立船橋特別支援学校高等部第 1 学年入学者募集要項について」ご説明申し上げます。

船橋市立船橋特別支援学校管理規則第 22 条の高等部に入学する生徒の募集及び入学

者の選抜の方法について、必要な事項は教育委員会が別に定めることになっており、船橋市教育委員会組織規則第3条第14号に基づき、議決いただくものでございます。

議案書の3ページ、4ページをご覧ください。

募集要項につきましては、昨年度とほぼ同様の内容になっております。異なる点としては、例えば「3 入学願書・調査書等の交付場所及び交付期間」の「(2) 交付期間」の日程が、昨年度は1月19日の月曜日から1月23日の金曜日までとなっていたところ、今年度も曜日を月曜日から金曜日となるよう設定したことから、日付けが異なることとなります。

以上、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

**【委員長】**

「1 募集定員」の項目に若干名とありますが、これは何人来るか分からないため、このような表記としているのでしょうか。

**【総合教育センター所長】**

ここでは若干名としていますが、基本的に志願者は全員「合格」としております。現在のところ約37名を見込んでおります。

**【委員長】**

そのほか何かご意見やご質問はございますか。

**【中原委員】**

「2 出願」のところで、条件として、特別支援学校中学部または中学校特別支援学級在籍者となっておりますが、中学校までは普通学級に在籍していて、高等部で出願するというようなご希望は今まではなかったのでしょうか。

**【総合教育センター所長】**

これまでもございます。普通学級に在籍していて高等部受験をするという例がございました。

**【中原委員】**

それは受け入れているんですか。

**【総合教育センター所長】**

基本的には受け入れてきております。

【中原委員】

原則はこのようになっていますが、それ以外でも入学しているというわけですね。

【総合教育センター所長】

そのとおりでございます。

【中原委員】

そのことについては中学校に周知されているのでしょうか。

【総合教育センター所長】

就学にあたっては、事前に相談等を行っておりますので、確認はできております。

【委員長】

他にご質問等ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、議案第47号「平成22年度船橋市立船橋特別支援学校高等部第1学年入学者募集要項について」を採決いたします。ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

議案第47号については、原案どおり可決しました。

続きまして、議案第48号について、保健体育課、説明をお願いします。

議案第48号「船橋市情報公開条例の規定による異議申立てについての決定について」、保健体育課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、議案第49号について、施設課、説明をお願いします。

議案第49号「平成21年度船橋市一般会計補正予算（教育に関する事務に係る部分）について」、施設課長から説明後審議に入り、全異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

続きまして、報告事項に入ります。

初めに、報告事項（1）について、総務課、報告をお願いいたします。

**【総務課長】**

「船橋の教育（素案）」について、ご報告いたします。

資料は、「船橋の教育」（素案）という厚い冊子と、「船橋の教育」（素案）概要とあるカラーの薄い冊子でございます。

去る11月2日に、船橋市教育振興ビジョン及び船橋市教育振興基本計画策定委員会の鎌田委員長から答申をいただきましたので、その写しを教育委員の皆様にお届けしたところです。

この答申をもとに、教育委員会事務局で「船橋の教育」（素案）としてまとめたものが、本日、机上に配付させていただいた冊子でございます。

「船橋の教育」（素案）は、今後10年を見通した教育の姿をあらわす「第2章 教育振興ビジョン」と、平成22年度からの5年間に実施すべき事業計画「第3章 教育振興基本計画」から構成しております。

策定の経過につきましては、これまで逐次ご報告してまいりましたので、本日は計画の内容を中心にご報告いたします。

なお、答申に至るまでに各課の課長補佐級で構成されます庁内プロジェクトが参画してきておりますので、答申の内容は大変具体的なものでございました。

「船橋の教育」（素案）は、この答申を最大限尊重して構成されております。

それでは内容につきましては、策定委員会の事務局を務めてきた総務課長補佐から説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

**【総務課長補佐】**

それでは、カラーの薄い冊子を中心に、適宜厚い本冊をご参照いただきまして概要をご説明いたします。

まず1ページに教育施策の流れをお示しいたしました。

2ページには、計画策定の背景としての法改正と昨年8月に諮問した内容をお示ししました。

3ページは、策定委員会の検討組織と組織図でございます。

4ページは、上の段に検討の経過を、下の段に基本的な考え方をお示しいたしました。

本冊では8ページに「計画策定の基本的な考え方」として掲載しております。

(1)本市の実情に即した議論、(2)市民の意見を広く聴取、(3)具体性のある計画、(4)分かりやすい計画、というような考え方を基本に策定の議論が進められました。

5ページをご覧ください。答申に至るまでの方法論的な特徴といたしましては、市民参加による準備委員会から始めまして、委員の公募を行ったこと、広く意見を聴取したこと、委員のアウトリーチ活動を行ったこと、庁内プロジェクトからの資料提供や状況説明などを行いまして、抽象論、理想論になりがちなものを、具体的なデータや実情をもとに、地に足がついた議論が進められたことなどが挙げられるかと思えます。

5ページの下段をご覧ください。本冊では14ページにございます。今後10年を見通して目指すべき目標を2つ掲げました。そして、目標達成のために8つの基本方針で臨むことを、羅針盤をモチーフに象徴いたしました。

6ページからは、基本方針ごとに「特に重点的に取り組む事項」を掲載いたしました。

基本方針1は、本冊の16ページと、35ページから52ページにございます。あえて一言で申し上げれば、「生涯学習社会の実現」ということになりますが、「いつでも、どこでも、誰でも学べる社会」に加え、生涯学習で学んだ成果を学校や地域社会に生かすという教育基本法や社会教育法の改正によって示された点に力点が置かれているように思います。また、家庭教育についても言及しております。

基本方針2は、本冊の18ページと53ページから62ページにございます。一人一人に応じたきめ細かい授業、学習サポーターの活用なども含めて「わかる授業」を行うことや、本市の特徴である小中一貫英語教育の推進など、主として学習指導に関する事業の推進でございます。

7ページの基本方針3は、本冊の19ページと63ページから72ページにございます。豊かな心の育成、規範意識、社会性、コミュニケーション能力の育成など、いわゆる「心の教育」、「徳育」に関する事業の推進でございます。

基本方針4は、本冊20ページと73ページから78ページです。体力の向上、健康な生活習慣の確立に関する事業でございます。なお本冊78ページには、船橋の子どもの体力のデータを掲載いたしました。体力低下が叫ばれておりますが、船橋の子どもは、このところ回復傾向にあるということが示されております。

続きまして、資料8ページの基本方針5でございます。ここは一言で言えば、「授業が上手な先生の育成」ということになります。「教育は人」と言われますが、研修の充実に取り組み、例えば授業力の極めて高い教員をスーパーティーチャーとして任命し、今後増加する若年層教員の育成を行う事業などがございます。

基本方針6は、通常学級に在籍する障害を持った子どもを含めた特別支援教育の充実、不登校児童生徒や帰国・外国人児童生徒への支援、経済的負担への支援に関する事業でございます。

9 ページの基本方針 7 は、教育施設の耐震化を初めとする安全性の向上と学校図書館の充実や ICT 化など、教育環境の整備についての事業でございます。

基本方針 8 は、市立船橋高校の魅力アップと小中連携教育、一貫教育の推進をはじめ、幼児教育、教育委員会、学校体制など、今後の教育体制に関する事業でございます。

基本方針ごとの説明は以上でございます。

次に資料 10 ページをご覧ください。この「船橋の教育」(素案)の大きな特徴としたしましては、現行施策「ふなばしの教育」の継承・発展であること、国や県の動向を踏まえ、教育基本法の改正をはじめとする法改正、県の教育ビジョンや新しい学習指導要領の精神を踏まえて作成されたこと、船橋市が他市に先がけて取り組んできた特徴ある事業の一層の充実を目指していることが挙げられるかと思えます。

また、冊子の構成としては、羅針盤でイメージを象徴したこと、メリハリのある柱立て、290 余りの事務事業を網羅し、一部数値目標を設定した具体性のある年次計画であることが挙げられます。

さらに、作成する過程では、各課・係レベルから、事業の現状と課題、そして今後の方向性についての資料を、庁内プロジェクトを通して提出していただき、ボトムアップ型の提案と策定委員からのトップダウンによる検討をバランスよく進めてこられました。この過程を通じて、これまでの事務事業の点検評価が行えまして、今後の事務事業の遂行と進行管理を見通しても、職員の意識改革につながるものではないかと考えております。

資料の 11 ページには、今後の予定をお示ししました。市長へのご説明の後、11 月末に正副議長、並びに正副文教委員長への報告を行い、12 月 8 日の文教委員会で報告を行うことになろうかと思えます。その後、12 月 15 日から 30 日間のパブリックコメントを行います。1 月にパブリックコメントについての修正等を行いまして、教育委員会会議で議決していただき、公表、周知と進めてまいる予定でございます。

なお、公表の際には、本日、冊子に挟んでおります概要版のパンフレットも作成して、周知に努めたいと考えております。

以上でございます。

#### 【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ございますか。

#### 【中原委員】

とても丁寧に検討していただいて、いろんな点が盛り込まれていると感じましたが、ここからどういう事業や事業計画に具体化していくかが問われるかと思えます。この「船橋の教育」で、それが少し見えてくる必要があると思うわけですが、新規事業が思ったほど多くないという印象がありますね。時間がなかったこともあって、なかなか

答申に基づいて、こういうことをやってみようという具体化までのところが、出てきていないように思います。その辺のところをまとめていただいて、考えていらっしゃるものがあれば教えてもらえますか。

**【総務課長補佐】**

まず、事務事業は全体で290余りございますが、今回、そのうち新規になるものが44、拡充の事業が64、継続の事業が191という計画になっています。

また、計画の具体性ということでございますが、本冊の第3章のところで、年次計画ということで計画を示したものが、およそ23%程度ございます。担当する各部署におきまして、その計画について進んだり戻ったりということがある中で、現在ある程度実現の方向で考えられるのが、この程度で、なかなか苦労しながら計画を練ってきたところでございます。

以上でございます。

**【中原委員】**

答申の方の53ページにあります幼児期の教育支援の充実のところ、子育て支援事業を拡充するという項がありまして、この計画が平成22年度から平成26年度まで1年ごとに1館ずつ増えていくような計画になっているわけですが、これは何を根拠にして1年に1館ずつ増えるということになるのか、数字だけでは見えない部分だと思えますね。何か理由があるのでしょうか。例えば施設自体が公民館と児童ホームが一体になっていると、比較的このような事業に取り組みやすいのではないかと思うんですね。その一体になっている館数が少ないので、展開させようと思うと、どうしてもこれだけになるというように、何か根拠が明確であれば分かりやすいですが、全体の館数からして、毎年これだけしか進まないのかという印象になるのもどうかと思ったものですから、その辺をお尋ねしたいと思います。

**【社会教育課長】**

公民館と児童ホームの併設については意識しておりましたが、基本的には毎年1館ずつ増やしていくということで、今、公民館25館の中で児童ホームを併設している館が6館ございますので、お願いしていきたいと考えております。

以上です。

**【篠田委員】**

この素案の構成についてですが、ぱっと見て、全体で何を伝えたいのかが分かる方がよいと思いますので、非常にまとまっている、このパンフレットを初めにつけたほうが、この「船橋の教育」の全体的な内容が把握できるという気がしました。

もう一点、今後、パブリックコメントが予定されていて、いろいろな意見が出されて、取り上げにくい意見もあるでしょうけれども、いったんは意見として受けとめて、できるだけ多くの意見を聞き入れられるような体制で進められるようお願いしたいと思います。

**【総務課長】**

ご意見ありがとうございます。参考にして手直しができるように考えてまいりたいと思います。

**【石坂委員】**

去年の夏ぐらいから、ここまできちんとまとめていただいたことに心から感謝いたします。また、本当に欲張り過ぎるぐらい多くの施策がとられているので、立派なもののできた以上は、計画にのっとり形として残していければよいと思います。とてもいいものができたと思っています。ありがとうございましたとお伝えください。

**【委員長】**

ほかによろしいですか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

それでは、続きまして、報告事項(2)について、学務課、報告をお願いします。

**【学務課長】**

市立船橋高等学校吹奏楽部の第22回全日本マーチングコンテストの出場について、ご報告いたします。資料はございません。

今年度8月25日行われた第22回千葉県マーチングコンテストで金賞及び教育長賞という特別賞をいただき、茨城県ひたちなか市で行われた第15回東関東マーチングコンテストで金賞に輝きまして、11月29日に大阪城ホールで開催される第22回全日本マーチングコンテストに3回目の出場を決めました。市立船橋高等学校の吹奏楽部の特徴は、総勢が126名という大規模な編成で、ダイナミックで通常より曲のテンポを上げてスピーディーな動きを強調した演奏と演技を行うもので、メンバーの一体化をアピールする方法をとっております。また、11月3日に、文化庁主催の「第24回国民文化祭しずおか2009」の吹奏楽の祭典におきまして、千葉県吹奏楽連盟の推薦を受け、55名の選抜編成と126名の全部員編成で合計4曲を披露してまいりました。

吹奏楽部は、大会にとどまらず、さまざまな活動を展開しておりますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

以上です。

**【委員長】**

ただいま報告がありました。何かご意見、ご質問ございますか。

**【石坂委員】**

このマーチングは、126名もの部員がいるということで、顧問の先生も本当に大変だと思いますし、相当練習量が必要だと思いますが、どれくらい練習されているのでしょうか。

**【学務課長】**

夜11時頃まで練習しているということです。練習する場所がなかなかとれず、例えば、他の部活動がない時間だけ体育館を使用したり、隣にあります総武病院のグラウンドを使わせていただくなど、非常に苦慮していると聞いております。

**【委員長】**

ほかに何かご意見、ご質問ございますか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

それでは続きまして、報告事項(3)について、指導課、報告をお願いします。

**【指導課長】**

資料の19ページをご覧ください。

船橋市内の小・中学校の文化部の活動報告をいたします。資料の19ページをご覧ください。すべて音楽関係です。

最初に、10月10日に札幌のk i t a r aというコンサートホールで行われました第9回東日本学校吹奏楽大会でございます。習志野台第一小学校がコンクールの部門で金賞を受賞し、豊富小学校がフェスティバルの部門で実行委員長賞を受賞しました。ちなみに習志野台第一小学校は11校の中から金賞を受賞し、豊富小学校は5校の中から実行委員長賞を受賞いたしました。

続きまして、10月12日に神奈川県の鎌倉芸術館大ホールで行われました第40回

全日本ギターコンクールでございます。このコンクールには全国から13団体が参加し、八木が谷中学校が金賞、NKG大賞を受賞しました。このギターコンクールには、高校生と中学生と一緒に参加しており、最優秀賞は高等学校が受賞しましたが、中学校では、八木が谷中学校が1位ということになります。「NKG大賞」は日本教育ギター連盟が主催しておりますことから、そうした賞の名であるということです。

続きまして、11月1日、文京シビックホールで行われました第15回日本管楽合奏コンテストでございます。全国から30団体が勝ち抜いて集まり、習志野台第一小学校が最優秀グランプリということで、第1位に輝きました。

続きまして、20ページをご覧ください。

こちらは今後開催されるコンクールでございます。

TBSこども音楽コンクールは毎年行われておりますが、今年は例年になく、船橋市から東日本大会に多くの学校が出場いたします。12月12日及び13日に、習志野文化ホールを会場に行います。記載している学校が出場しますので、場所も近いので、ぜひ鑑賞いただければと思います。

また12月26日には、江戸川区の江戸川総合文化センターで、こども音楽コンクール合唱部門が開催される予定で、丸山小学校と高根台第三小学校が出場いたします。ここで一番優秀な団体が文部科学大臣賞に輝くこととなります。

最後に、第22回全日本マーチングコンテストでございます。これは先ほど報告がありました市立船橋高等学校が出場する大会と同じで、関東大会を勝ち抜いた法田中学校が、11月29日に、大阪城ホールで行われる全日本大会の中学校の部に出場いたします。

以上です。

#### 【委員長】

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ございますか。

#### 【各委員】

なし。

#### 【委員長】

続きまして、報告事項(4)について、文化課、報告をお願いします。

#### 【文化課長】

資料21ページをご覧ください。

下総三山の七年祭りについては、8月の定例会でもご案内いたしましたが、その大祭が11月21日から3日間にわたって行われます。この大祭は、襖式、安産御礼大祭、

磯出祭に分かれており、中でも22日に行われます安産御礼大祭は、船橋市、千葉市、習志野市、八千代市の4市9つの神社のおみこしが神揃場に集まり、二宮神社に昇殿することになります。ここが何といてもこのお祭りのクライマックスになると思います。6年に一度の機会ですので、お時間があれば、ぜひご覧いただければと思います。

これと同時に、郷土資料館で「下総三山七年祭り 写真で見る祭りの魅力」という小企画展を行っております。前回の七年祭り、平成15年に行われた際の写真などを展示して、その魅力を紹介しているところです。

以上でございます。

**【委員長】**

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問はございますか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

続きまして、報告事項(5)について、飛ノ台史跡公園博物館長、報告をお願いします。

**【飛ノ台史跡公園博物館長】**

資料23ページのカラーのチラシをご覧ください。

本日11月12日から来年1月10日まで、「料理と厨房の歴史 - こんなに変わった日本の食卓 - 」と題しまして企画展を開催いたします。

当館は日本で初めて、「炉穴」といいまして、竪穴式住居の外に台所をつくって、そこで料理をしたという遺跡が見つかったところでございます。そこで、こうした企画展を開催いたしました。旧石器時代から現代までのさまざまな食器や土器に残っていた食物の炭化物等を展示しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

以上です。

**【委員長】**

実は先日、行政視察で岡山市のオリエント美術館を見てきまして、企画展を行うと、約1億円を売上げることもあるというお話がありましたが、飛ノ台史跡公園博物館ではいかがですか。

**【飛ノ台史跡公園博物館長】**

通常よりも多少、入館者が増えます。

**【委員長】**

赤字の持ち出しがあるかもしれませんが、文化という意味では、必要なことでしょうね。

ほかに何かございますか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

それでは続きまして、報告事項（６）について生涯スポーツ課、報告をお願いします。

**【生涯スポーツ課長】**

資料２５ページをご覧ください。

１１月３日火曜日、文化の日に船橋市運動公園野球場で野球場改修完成記念、記念式典及び記念試合を行いました。当日は教育委員長はじめ、教育委員の皆様には、お忙しい中、また寒い中でのございましたが、ご来場いただきましてありがとうございました。

当日は非常に寒い日でのございましたが、約３，５００人もの市民の方にお集まりをいただくことができました。式典オープニングでは三咲小学校の吹奏楽と法田中学校のマーチングバンドが演奏し、式典で始球式、花束贈呈、選手宣誓を行なった後、７回戦の記念試合を行うことができました。試合は市長が総監督を務めます船橋市の選抜チーム、スクランブルゴールズが、萩本さん率いる茨城ゴールデンゴールズに１６対１４の２点差で勝つことができました。

式典や試合終了後も萩本さんのマイクパフォーマンスが続き、ご来場の方には十分に満足をしていただいたものと思っております。

また、萩本さんが、玄関の前からお帰りになる時には、たくさんのファンがボールや色紙を持ってサインを求めていましたが、萩本さんはすべての方のサインや写真撮影が終わるまで約１時間も応じてくださり、最後までご協力いただけました。

なお、写真にもございますが、当日はチャリティー募金を行い、表の売店の売上げの５％と合わせて、８万３，５８６円集まりました。これは国体の実行委員会へ寄附してまいりたいと考えております。

以上です。

**【委員長】**

ただいま報告がありました。何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

続きまして、報告事項（ 7 ）その他で、何か報告したいことがある方は、ご報告願います。

**【施設課長】**

金杉台団地内の金杉台小学校の校庭使用の件について報告させていただきます。

子育て支援部保育課では、今年度、各保育園の耐震診断を実施しております。その中で金杉台団地の中にある金杉台保育園については、耐震指標が低いということで、建替えの対応が至急求められるということがございます。その建替えにあたり、保育課から、建て替える期間、金杉台小学校の校庭を借用したいという申し入れがございました。教育委員会といたしましても、園児の安全確保のため、学校と協議して校庭を貸し出すことにしております。

仮園舎のために校庭を貸し出す期間でございますが、今のところ保育課では平成 2 2 年 1 月頃から 2 3 年 3 月頃までを予定しているということでございます。今後、園児や児童の安全に十分注意を払いながら、事故等が発生しないように、また児童の活動にできるだけ支障が生じないように仮園舎を設置することを、保育課と詰めてまいりたいと考えております。

報告を終わります。

**【委員長】**

今のご報告について、何かご意見、ご質問ございますか。

**【石坂委員】**

保育園ですから、朝は 7 時ぐらいからですか。

**【施設課長】**

朝の 7 時から夕方 7 時の間と聞いております。

安全のためにも、できるだけ校庭と園舎との間をフェンス等で区切ってもらうように協議をしています。

もう一つは、金杉台小学校の入り口が、ちょうどカーブになっていて、坂になっているので、そのあたりも事故のないよう送り迎えの際には十分注意するように、そういったことも整備内容として今後進めてまいりたいと考えています。

**【委員長】**

では、話がよく煮詰まったら、また報告をお願いいたします。  
そのほか何か報告はございますか。

**【保健体育課長】**

現在の新型インフルエンザの状況について、報告させていただきます。  
配付いたしました1枚の資料をご覧ください。

まず、本日11月12日の閉鎖状況です。学校閉鎖が6校、学年閉鎖が5校、学級閉鎖が36校ございます。新たな情報として、下の表は、船橋で初めて新型インフルエンザ罹患が発生してからの累積の人数です。10月末までで小学校、中学校、高校、特別支援学校合わせて7,000人以上の子どもたちが新型インフルエンザに罹患し、罹患率は15.7%という状況でございます。学校には引き続き適切な対応を図るようという指導をしております。

以上です。

**【委員長】**

ただいまのご報告について、何かご意見、ご質問などございますか。

**【石坂委員】**

船橋市の状況としては、患者数は減ってきているのでしょうか。

**【保健体育課長】**

先々週あたりは、一時、欠席人数が約1,900人だった時期がございますので、それから比べると出席停止者の人数は、少しは減っているという状況です。

**【石坂委員】**

予防接種については、今は妊婦さんが対象で、今後1歳から小学校3年生に相当する年齢の子どもに予防接種が実施されるということですね。やはり船橋市も国で決定されているとおりの順位で予防接種を実施するのでしょうかけれども、パーセンテージを見ると6割から7割が中学生以下という報道があって、小・中学生の予防接種の実施をもう少し早めるといったような予定はあるのでしょうか。

**【保健体育課長】**

ワクチンについては保健所を中心に、いろいろと対応していますので、基本的には国の枠組みの中で実施するというスタンスだと聞いています。

【委員長】

季節性すら非常に不足していて、新型については、もうほとんど手に入らない状況で、順位をつけても、なかなか実施できないのが現状ではないかと思います。メディアでは報道されなくなってきましたが、本当に爆発的に感染者が増えていることは間違いないので、これからまた条件が悪くなることも考えられますね。

そのほか何かご意見、ご質問ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、先日行ってまいりました教育行政視察について、私から簡単に報告させていただきまして、各委員の方に何かご意見ございましたら補足していただきたいと思えます。

10月21日と22日に、我々、教育委員と総務課長の6人で岡山市に行ってまいりました。岡山市は、この4月に政令指定都市に移行し、面積は船橋市の10倍、人口規模は船橋市より10万多く、約70万人ということです。瀬戸内気候で「晴れの国岡山」というキャッチフレーズのとおり、2日間とも大変良い天気にも恵まれて視察に行っていました。

第1日目は、岡山市庁舎で、学校支援地域本部事業についてお話を伺ってまいりました。これは登録したボランティアが教育を支援するというもので、いわゆるコミュニティスクールとは、また違うものですが、そのボランティアの中にも玉石混淆でいろいろな人がいるので、学校側にとってはなかなか難しいところもあるのではないかという感想を持ちました。

午後には、オリエント美術館というすばらしい美術館を視察してまいりました。館長からお話を伺いまして、別会計の特別展を除くと年間約1億円の赤字が出るということですが、特別展では3～4千万円の経費で約1億円を売上げることもあるということでした。この方は、大学教授になられて、館の設立から30年にわたりかかわってこられた非常に思い入れの強い方で、30年も継続すると一つの文化になると話されていました。また、何か美術品の掘り出し物があると、市民から募金を募って、当然足りないわけですが、市民がこれだけ出してくれたからということで市議会を説得して、それを購入することができるというお話もありました。

2日目は、市立の中高一貫校である岡山後楽館中学校・高等学校を視察してまいりました。校舎はもともと官公庁施設で、制服がなく、チャイムもないということでした。また、高校は単位制で、非常に生徒の自主性を重んじる一方で、自己責任をしっかりと果たせるということでした。これはなかなか口で言ってもできるものではありませんが、

中学校からの教育がきちんとなされているので、そうしたことが成り立っているのだと感じました。そこでは暴力をふるったりすると即退学というように、社会のルールをきちんと中学生、高校生に守らせるということを一つの校則にしているようです。ここでも、やはり設立からずっと携わっていた中学校の校長先生、高校の校長先生の思い入れが非常に強く、そうした方のお話は本当に興味深いものがありました。

私のほうからは以上ですが、委員の皆さんから何かございますか。

#### 【石坂委員】

学校支援地域本部は一つの単体で動くのではなくて、組織的にまとまりを作って実施するというので、その分たくさんの情報が集まり、それを各学校に必要なことを広げ伝えていくので、すごくいい取り組みだと感じました。

ただ、旗振り役といいますか、中心になる方たちのご苦労もたくさんあって、非常に工夫しないと、継続したり実施校を増やすことは難しいのではないかと感じました。

オリエント美術館は、建物自体も美術館にマッチしたオリエンタルな建物になっていて、建築協会からもたくさんの表彰を受けているということでした。特に、館長さんがすごく楽しい熱心な方で、惹き付けられて話を聞かせていただきました。

#### 【中原委員】

行政視察に行かせていただくと、いろいろな事業を生み出し、実際に形にしていく人の熱意や思いというものが、その事業の質を確実に決めていくのだということを私はいつも実感します。今回もそうでした。オリエント美術館の設立計画のところから携わっていた方が、たまたま館長として十何年たって戻っていらしたというので、最初のところでどのようなビジョンを持って、何を仕組んでいくかというところで、でき上がるものは変わるんだということをすごく感じました。そういう意味では、ここにいる皆さんが、事業一つ一つの質を高くしていく、とても大事な人材だということを改めて外に行きながら感じてきました。

学校教育に関しては、岡山市は先進的で、通常の形で学校に行けない子どもたちの進路やキャリアについて、公教育でどのように可能性を用意するかというところを長年取り組んでいるということでした。中高一貫の学校では、社会のルールは学校のルールだとしていますが、その半面、選択肢を非常にたくさん用意して、自分で選んだことは責任を持って実践し、それを大人がしっかり見ているということで、それも教育の本質だと感じました。

今日、議案第48号のところでは申し上げませんでした。この事故報告書を見ますと、保護者の方たちがそれぞれ言っていることを並べて報告書になっているという形ですが、それでいいのだろうか、ずっと引っかかっています。つまり学校で起こった事故で、学校の教員がそれにかかわって対処もしてきているわけで、そういう指導の主体

としての学校が報告していくというところが、これでは損われてしまうのではないかと感じます。この辺は多分これから教育を担っていくときに、とても大事なところだと思います。視察に行って、そうしたことを担っていく人たちの芯のようなものを感じましたし、それはいろいろな危機的なことを責任を持って乗り越えていくところから生まれているのだとも感じましたので、一つ一つから学んでいかなければならないと感じました。

**【篠田委員】**

私は、岡山後楽館中学校・高等学校で、学校の特徴について「何もないのが特徴だ」という言葉が非常に印象に残っています。子どもたちは自由な校風の中で、それぞれが責任を持ち、社会のルールを学校のルールとして本当に身を持って実践しているということです。勉強以外のところでも、それぞれの子どもの個性が生かされたすばらしい学校だと思いました。船橋市でこうした教育ができるどうかは別として、姿勢として、画一的な教育ではなく、それぞれの子どもたちが持つ、いろいろな可能性を伸ばせるような教育機会があればよいと思いました。

以上でございます。

**【委員長】**

その他、報告事項などございますか。

**【石坂委員】**

10月23日に、千葉県総合教育センターで開催されました平成21年度第1回教育委員研修会講演会に行きまいりましたので簡単に報告いたします。

講師は文部科学省スポーツ・青少年局長の布村幸彦先生で、演題は「学習指導要領改訂の基本的な考え方」、副題を「体育の振興と徳育の充実」として、体育や徳育の課題について、分かりやすくお話しいただき、本当に必要なことであると感じてきました。脳の研究から、その子どもたちの心と体の調和的な発達のために重要な機能が発揮されるのは、8歳ぐらいが一番ピークだということです。20歳ぐらいまで続くそうですが、それを過ぎるとだんだんと機能が減少してくるため、その時期の社会環境の正しい教育と学習が必要で、まさに私たちが今考えてやっていかなければいけないことだと実感いたしました。心と体の一体的な発達のためには、もちろん家庭、地域、学校の連携、協力が必要ですが、オリンピック憲章にも「肉体と意志と知性の資質を高揚させる」とあるそうで、この「肉体」が「体」で、「意志」が「徳」で、「知性」が「知」に当たり、これを統合的に鍛えるために行政が何をすべきかということです。本日の報告事項でありました「船橋の教育」（素案）を見る限り、この方針に沿ってやっていけば、船橋市では正しい教育を実践することが可能であると思いました。

以上です。

【委員長】

そのほか何か報告ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、本日予定していました議案等の審議は終了いたしました。

これで教育委員会会議 1 1 月定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。